

DAV1010 V1.03
2009/03/27

C1000シリーズ

DAV1010

取り扱い説明書

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 日野市旭が丘3-2-11

TEL 042-586-2933

FAX 042-584-0314

1. 概要と特長

DAV1010 は C1000 シリーズの C-Bus モジュールです。
D1 シリアルデジタルコンポーネント信号をアナログコンポジット信号 (NTSC) に変換します。
SCφ、Hφの調整が可能です。

2. 構成

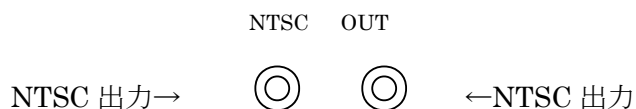
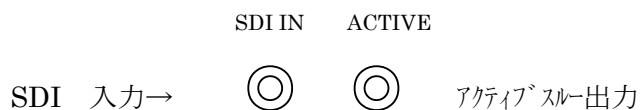
DAV1010 本体とコネクタモジュール RPB1007 により構成されます。

- DAV1010 本体
基板および補強を兼ねたシールド板と一体化したフロントパネルで構成されています。
- RPB1007 コネクタモジュール
D1-SDI 入力用 BNC コネクタ 1 個、NTSC 出力用 BNC コネクタ 2 個、およびアクティブスルー出力用 BNC 1 個が設置されています。
C1000 シリーズのリアパネルに固定します。

3. 機能

- 1) D1 デジタルコンポーネント信号をアナログコンポジット信号 (NTSC) に変換します。

リアパネル図

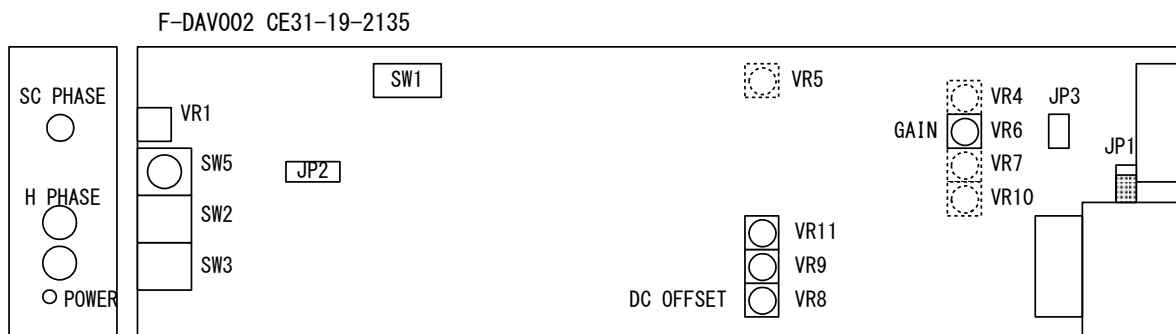


- 2) アナログコンポジット信号を 2 分配できます。

4. 設置方法

- 1) C1000 シリーズのシャーシにおいて予め使用するスロットに RPB1007 を固定します。
- 2) DAV1010 をスロットに挿入し奥まで差し込みます。
- 3) C1001 の使用時は抜け止め防止金具を起こします。
C1002 を使用時はフロントパネルで各モジュールは固定されます。

5. 調整



1) カラーフィルタ[®](CF)の設定

SW1-	1	2	3	4	5	6	7	8
	Off	Off	Off	Off	Off	Off	Off	CF

SW1-8 は C1000 フレーム REF.入力(JP1 下方時)の CF1 検出用レベル回路調整用です。

(JP1SW1-1~SW1-7 は Off 固定にしてください。)

出荷時は、基板毎に SW1-8 を On 又は Off に調整して、REF.入力と同相にしてあります。

SW1- 8 を出荷時設定と反対にしますと(On の時は Off、Off の時は On)、REF.入力が CF1 の時 VBS 出力は CF3 になります。

*REF.入力を使用しない時は、CF1 は電源投入時(又は SDI 入力時)に定まります。

2) DC off set と GAIN の調整。(デジタル入力信号 SMPTE CB)

最初に、ペDESTAL レベルが DC 0V になるように VR8 を調整します。

次に GAIN が 1Vpp になるように VR6 を調整します。

3) SC φ、H φ の調整

出力タイミング基準

SDI 入力のみの時 → SDI データ

SDI に同期した B.B 入力を使用時 → B.B 入力

前面操作部の説明

SC PHASE ホリウム

SC 位相の調整用 0° ~360°

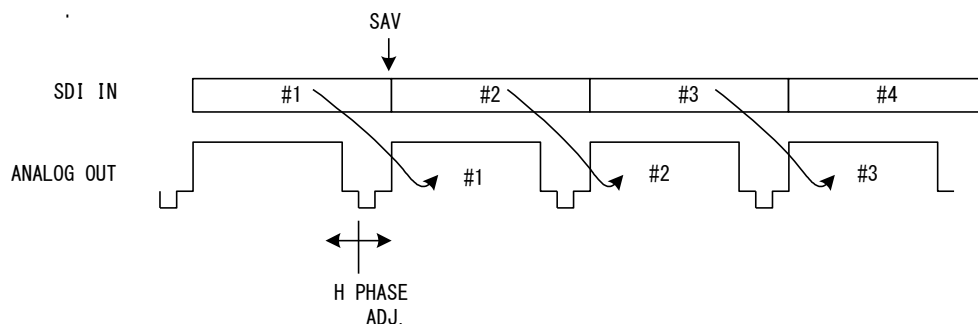
H PHASE ロータリ- SW

H 位相の調整用	“COARSE”	16 ステップ°	1.185 μs/ステップ°
	“FINE”	16 ステップ°	74ns/ステップ°

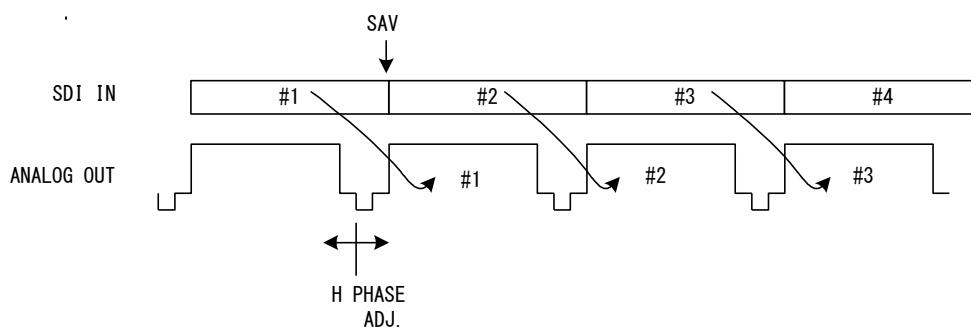
4) SDI 入力と VBS 出力の H 位相関係

基本的に 1H 遅れて出力

a. SDI 入力に従って出力する時(SDI 基準)



B.B 入力に従って出力する時(SDI と同期している B.B 基準)



6. 特性

- | | | |
|---------|-------------------|------|
| 1) 入出力数 | シリアルデジタルコンポーネント信号 | 1 入力 |
| | アナログコンポジット (NTSC) | 2 出力 |
| | アクティブスルー出力 | 1 出力 |

2) 基本的電気特性

SDI 入力信号 SDI SMPTE259M (準拠)

270MHz (D1 NTSC コンポーネント)

800mvpp \pm 10%

75 Ω BNC 不平衡

アナログコンポジット出力信号

1 Vpp \pm 10%

75 Ω BNC 不平衡

- | | |
|---------|--------|
| 3) 消費電力 | 約 5.5W |
|---------|--------|